

事業所における 自己評価結果（公表）

公表：平成 31 年 1 月 26 日

事業所名 こどもサポート教室クラ・ゼミ札幌旭ヶ丘校

| | | チェック項目 | はい | いいえ | 工夫している点 | 課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標 |
|-------------|---|--|----|-----|----------------------------------|--|
| 環境・ 体制整備 | ① | 利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である | ○ | | — | ・指定基準上問題なし。法令を遵守したスペースを確保しています。 |
| | ② | 職員の配置数は適切である | ○ | | — | ・指定基準上問題なし。法令で必要とされている配置数に加えて、保育士または児童指導員を 1 名以上配置しています。 |
| | ③ | 生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっている。また、障害の特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされている | ○ | | ・色テープなどを貼って工夫している。 | ・バリアフリー化とは現状なっていない。通所児童は重度心身障害児以外となる為。・事業所内の部分的改築を検討。 |
| | ④ | 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっている。また、子ども達の活動に合わせた空間となっている | ○ | | ・当番制にして清掃を実施。・児童の状況によって個室での療育実施。 | ・療育スペースと事務所を仕切り明確な空間を提供できるように今後改善予定。 |
| 業務改善 | ⑤ | 業務改善を進めるための PDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画している | ○ | | ・月 1 回療育の入っていない時間での会議を主として行っている。 | ・状況により職員間での共通認識をする為の話合時間もあり。 |
| | ⑥ | 保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている | ○ | | ・会議を行い急務とすべき点に関しては即時改善とする。 | ・定期的なアンケート、イベント終了後のアンケートを行い次期改善へと繋げる。 |
| | ⑦ | 事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開している | ○ | | ・会議を行い取りまとめ項を公開。 | 自己評価に関してはクラ・ゼミ HP の校舎案内にて掲載させて頂いています。 |
| | ⑧ | 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている | | ○ | ・基幹事業所の参入も検討。 | ・第 3 者の評価は現在受けていない。 |
| | ⑨ | 職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している | ○ | | ・系列として「発達支援研究所」を設立、運営している。 | ・内部研修は行うも外部研修の参加が少なかった。要改善。 |
| 適切な 支援 | ⑩ | アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成している | ○ | | 職員間での情報共有を行った上での会議を行っている。 | ・計画期間ごとにアセスメントを行ったうえで個別支援計画を作成しています。 |
| | ⑪ | 子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用している | ○ | | ・NCプログラムの導入 | ・定期的に児の育みを確認しながら適応行動の分析に繋げている。 |

| | | | | | | |
|--|---|---|---|---|--|--|
| の 提 供 | ⑫ | 児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」「発達支援（本人支援及び移行支援）」「家族支援」「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されている | ○ | | ・保護者の意向を踏まえ発達支援の目標を大きく分けて3つとしている。 | ・保護者へのアセスメントを行い発達支援、家族支援、地域支援の項目を設定して計画立案、実施しています。 |
| | ⑬ | 児童発達支援計画に沿った支援が行われている | ○ | | ・児童の当日の状態も確認しつつ当日の療育を進めている。 | ・支援計画に沿って療育を行っています。 |
| | ⑭ | 活動プログラムの立案をチームで行っている | ○ | | ・できる限り一人の指導員が抱え込まない体制で運営している。 | ・立案の際、職員間での共通認識とされています。 |
| | ⑮ | 活動プログラムが固定化しないよう工夫している | ○ | | ・できる限り一人の指導員が抱え込まない体制で運営している。 | ・興味関心の高い内容を盛り込んで療育に反映させて頂きます。 |
| | ⑯ | 子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて児童発達支援計画を作成している | ○ | | ・保護者の要望に沿って基本活動している。 | ・個別療育を中心に行っているので集団療育に関してはイベント開催時のみ |
| | ⑰ | 支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している | ○ | | ・会議での打合せが行えない際には社内チャットを利用して情報共有に努める。 | ・朝礼、療育時間準備前等、日次で実施。職員間での情報共有を行っています。 |
| | ⑱ | 支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している | ○ | | ・社内チャットを利用して情報共有に努める。 | ・職員間での情報共有を行っています。 |
| | ⑲ | 日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている | ○ | | 記録を見直すことで児童の成長や取り巻く環境の変化に合わせて、指導内容や方法を更新しています。 | ・毎回、指導報告書を作成。 |
| 関 係 機 関 や 保 護 者 と の | ⑳ | 定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断している | ○ | | ・基本、保護者の要望を優先としている。 | ・職員間での情報共有をして必要であれば計画の見直しを行っています。 |
| | ㉑ | 障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している | ○ | | 担当者会議に出席しやすいように代替担当指導員でも受け持つことができる環境を作っている。 | ・児童との関わりがもっとも高い指導員を優先的に参加できる環境を作り参加しています。 |
| | ㉒ | 母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っている | ○ | | ・保護者の意向を優先。 | ・連携に関しては低め。事業所としては連携に関しては問題なし。 |
| | ㉓ | （医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合） 地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っている | — | — | — | ・対象外 |

| | | | | | | |
|----------------|---|---|---|---|----------------------------------|-------------------------|
| 連携関係機関や保護者との連携 | ⑳ | (医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えている | — | — | — | ・対象外 |
| | ㉑ | 移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚園)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている | ○ | | ・支援会議を増やし相互理解を深める関わりを今後も継続してきます。 | ・保護者の要望によって情報共有を行っています。 |
| | ㉒ | 移行支援として、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている | ○ | | ・支援会議を増やし相互理解を深める関わりを今後も継続してきます。 | ・保護者の要望によって情報共有を行っています。 |
| | ㉓ | 他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている | ○ | | ・可能な限り時間を調整して研修に参加している。 | ・保護者の要望によって情報共有を行っています。 |
| | ㉔ | 保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障害のない子どもと活動する機会がある | | ○ | ・運営母体との検討議題とします。 | ・現状の運営状況では厳しい点が多々あり。 |

| | | | | | | |
|------------|---|--|---|---|----------------------------------|--|
| | ㉕ | (自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加している | △ | | ・可能な限り時間を調整して研修に参加している。 | ・現状の運営状況での参加は厳しい点がある。 |
| | ㉖ | 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている | ○ | | ・状況によって電話での定期的な連絡も行っています。 | ・療育後のフィードバック時に確認しています。 |
| | ㉗ | 保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)の支援を行っている | | ○ | ・ペアレントトレーニングが実施できる体制作りが今後必要。 | ・ペアレントトレーニングを実施できる職員が現状不在。体制を整えて今後の実施を検討。 |
| 保護者への説明責任等 | ㉘ | 運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っている | ○ | | ・問い合わせがあった際はすぐに回答できるような体制を整えている。 | ・運営規定、利用者負担額等について、契約時に丁寧に説明するとともに事業所内において重要事項説明書類を掲示しています。 |
| | ㉙ | 児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ている | ○ | | ・説明時間が足りない際には追加での補足時間も確保している。 | ・具体的な支援の内容については、個別支援計画の提示の際に説明した上で同意を頂いています。 |
| | ㉚ | 定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている | ○ | | ・重要項については指導報告書等に詳細を記載する。 | ・支援後のフィードバックにて丁寧に説明させて頂いています。 |
| | ㉛ | 父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している | △ | | ・今後は定期的に開催できるように要改善 | ・本年度は一度開催。 |
| | ㉜ | 子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応している | ○ | | ・最優先項として対応、整備、行動をしている。 | ・職員間で会議を開き、迅速な対応を心掛け運営をしている。 |

| | | | | | | |
|---------|----|--|---|--|--|--|
| | ③⑦ | 定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している | ○ | | ・HPの公開、元気サーチ、ワムネット、リタリコ等に登録公開中。 | ・2週間に一度必ず、ブログにてイベントの様子や療育状況等を発信しています。今後も継続しつつより良き情報を提供致します。自己評価に関してはクラ・ゼミHPの校舎案内にて掲載させて頂いています。 |
| | ③⑧ | 個人情報の取扱いに十分注意している | ○ | | ・運営母体との検討議題とします。 | ・細心の注意を払いつつ職員間の共通認識としています。 |
| | ③⑨ | 障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている | ○ | | ・児童、保護者の行動や言動など細かに注意を払い職員間で分析。 | ・細心の注意を払いつつ対応。保護者への会話の機会を大切にしてお対応。 |
| | ④⑩ | 事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている | ○ | | — | ・現状の運営状況では厳しい点が多々あり。 |
| 非常時等の対応 | ④① | 緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施している | △ | | ・契約時に災害発生時の避難場所、対応等の補足資料を配布している。 | ・感染症対策のマニュアルはあるものの発生を想定した訓練の実施が必要。要改善。 |
| | ④② | 非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている | ○ | | ・インターネット動画、市の防災訓練マニュアル、地域の防災訓練への参加等を行っている。 | ・地震・爆発・水害・台風・竜巻・不審者等の防災訓練を主に行っています。感染症対策は現状行っていませんので今後取り組んでいきたいと思えます。 |
| | ④③ | 事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認している | ○ | | ・記載項以外の状況についても保護者へ確認。 | ・保護者への聴取を実施。個別対応を実施。 |
| | ④④ | 食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている | ○ | | ・食物アレルギー以外のアレルギーに関しても聴取、対応。 | ・契約時にアレルギーについての確認項あり、アレルギーのある児童に対しては保護者への聴取を実施。 |
| | ④⑤ | ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している | ○ | | ・社内HPにて全国のヒヤリハット集を作成、公開して共有している。 | ・事業所内にてファイリングして共有。 |
| | ④⑥ | 虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている | ○ | | ・市が主催する虐待防止の全体会の資料を開示。 | ・年に1度、札幌地区のグループにおいて研修を開催。 |
| | ④⑦ | どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載している | ○ | | ・身体拘束が起こるような運営状況には契約の段階からしていない。 | ・身体拘束を行う状況はなし。今後の利用児童によっては組織的話し合いが必要。 |

○この「事業所における自己評価結果（公表）」は、事業所全体で行った自己評価です。

保護者等からの事業所評価の集計結果（公表）

公表：平成 31年 1月 26日

事業所名 こどもサポート教室クラ・ゼミ札幌旭ヶ丘校 保護者等数（児童数）9 回収数 5 割合 55.5%

| | | チェック項目 | はい | どちらともいえない | いいえ | わからない | ご意見 | ご意見を踏まえた対応 |
|--------------------------|---|---|----|-----------|-----|-------|---|--|
| 環境 体制 整備 | ① | 子どもの活動等のスペースが十分に確保されているか | 5 | | | | ・適度なスペースです。 | ・今後も指定基準を遵守して運営を行います。 |
| | ② | 職員の配置数や専門性は適切であるか | 5 | | | | ・適切だと思います。 | ・今後も指定基準を遵守して運営を行います。 |
| | ③ | 生活空間は、本人にわかりやすい構造化された環境になっているか。また、障害の特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされているか | 4 | 1 | | | ・子どもにわかりやすくなっています。・バリアフリーにはなってなかも。 | ・重度心身障害児の利用事業所ではないので現状の運営体制ではバリアフリー化の予定はなし。但し今後の運営状況によっては改善もあり。 |
| | ④ | 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境となっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか | 5 | | | | ・清潔です。・個室になっていて GOOD | ・利用者の思いを考えつつ職員間での環境作りを行っていきます。 |
| 適切 な支 援の 提 供 | ⑤ | 子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、児童発達支援計画が作成されているか | 5 | | | | ・保護者のニーズをよくわかって頂いています。・毎回帰りに次の課題をお願いできるのが嬉しいです。 | ・今後も丁寧な対応を心掛けて運営を行っています。 |
| | ⑥ | 児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援（本人支援及び移行支援）」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか | 4 | | | 1 | 設定されていると思います。 | ガイドラインを遵守しつつ運営を行っていきます。 |
| | ⑦ | 児童発達支援計画に沿った支援が行われているか | 5 | | | | ・行われています。 | ・今後も支援計画に沿った支援を行っていきます。 |
| | ⑧ | 活動プログラムが固定化しないよう工夫されているか | 5 | | | | ・毎回、違う内容で工夫されています。 | ・児の成長に沿った活動を楽しく行ってきます。 |
| | ⑨ | 保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか | 2 | 1 | 1 | 1 | | ・組織としては交流の機会を現段階では設けておらず今後、要改善項です。・地域でのイベントに児童と参加する事で連携の機会を増やしていきます。 |
| 保 護 | ⑩ | 運営規程、利用者負担等について丁寧な説明がなされたか | 5 | | | | ・わかりやすく説明して頂いています。 | ・今後も丁寧な説明を心掛けて運営していきます。 |

| | | | | | | | | |
|---------------------------------|---|--|---|---|---|---|-----------------------------|---|
| 者 へ の 説 明 等 | ⑪ | 児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら、支援内容の説明がなされたか | 3 | 1 | | | ・わかりやすく説明して頂いています。・未回答 1 | ・今後も丁寧な説明を心掛け運営していきます。 |
| | ⑫ | 保護者に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）が行われているか | 3 | 1 | | | ・親身に考えてくれます。・行われています。・未回答 1 | ・現状、専門の知識を持つ職員が不在。今後、改善に向けて行きます。 |
| | ⑬ | 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解ができているか | 5 | | | | ・とてもよくできていると思います。 | ・今後も丁寧な説明を心掛け運営していきます。 |
| | ⑭ | 定期的に、保護者に対して面談や、育児に関する助言等の支援が行われているか | 4 | 1 | | | ・いろいろとアドバイス頂いています。 | 今後も保護者の気持ちに寄り沿った対応をしていきます。 |
| | ⑮ | 父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により保護者同士の連携が支援されているか | 3 | 1 | 1 | | ・出席できない事がありますが保護者会等があります。 | ・昨年度は 1 度開催させて頂きました。次年度は交流の機会を増やして良き運営を考えて行きます。・父母会だけではなく講演会の企画も考えて行きます。 |
| | ⑯ | 子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、子どもや保護者に周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されているか | 3 | | 1 | 1 | ・すぐに対応してくれます。 | ・いいえといった回答が以上、今以上に丁寧な説明、対応を心掛けていきます。 |
| | ⑰ | 子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされているか | 3 | 1 | | | ・未回答 1 | ・来所頂く機会の少ない保護者へは電話にて定期的に連絡して対応させて頂いています。 |
| | ⑱ | 定期的に会報やホームページ等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されているか | 5 | | | | ・分かりやすく発信されていると思います。 | ・2 週間に一度必ず、ブログにてイベントの様子や療育状況等を発信しています。今後も継続しつつより良き情報を提供致します。自己評価に関してはクラ・ゼミ HP の校舎案内にて掲載させて頂いています。 |
| | ⑲ | 個人情報の取扱いに十分注意されているか | 3 | 1 | | 1 | ・問題ないと思います。 | ・細心の注意を払いつつ職員間の共通認識とします。 |
| 非 常 時 等 の 対 応 | ⑳ | 緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、保護者に周知・説明されているか。また、発生を想定した訓練が実施されているか | 3 | 1 | 1 | | ・訓練しているのでしょうか？ | ・職員間での訓練は毎月行っていますが、利用児童を含めた訓練を行っていません。次年度中には開催できるように改善します。 |
| | ㉑ | 非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練が行われているか | 3 | 1 | | 1 | ・どのような訓練が行われているのかわかりません。 | ・地震・爆発・水害・台風・竜巻・不審者等の防災訓練を主に行っています。感染症対策は現状行っていないので今後取り組んでいきたいと思えます。・近隣の消防局等に協力を仰ぎ資料、備品のレンタ |

| | | | | | | | | |
|-----|---|------------------|---|--|--|--|--|--|
| | | | | | | | | ルを近い災害に対する意識付けも行いたいと思います。 |
| 満足度 | ② | 子どもは通所を楽しみにしているか | 5 | | | | | ・子供が楽しく参加できるように工夫されており、その中で成長も感じている。 ・事業所を児にとつての大切な居場所として捉えられるように楽しい環境作りを今後も継続していきます。 |
| | ③ | 事業所の支援に満足しているか | 5 | | | | | ・とても満足しています。 ・より一層の努力をしつつ今に誇る事のなきように運営を続けて行こうと思います。 |

○この「保護者等からの事業所評価の集計結果（公表）」は、保護者等の皆様に「保護者等向け児童発達支援評価表」により事業所の評価を行っていただき、その結果を集計したものです。